

Close up だて



独特の書体で下の句が書かれている木札



読み手に合わせ、一瞬で木札を取ります

— かるたは昔からある遊び 幅広い年代で楽しめます —

伊達政宗歌留多倶楽部

代表 板谷一雄さん

【武】道と同じで「礼儀に始まり礼儀に終わる」。集中力を養いたいお子さんや高齢者の老化防止にも最適ですね」と話してくださいるのは、伊達政宗歌留多倶楽部代表の板谷一雄さんです。

『百人一首』という言葉に懐かしさを覚える方も多いのでは…。

鎌倉・平安時代の歌人が詠んだ和歌の「紙札」を使う遊びで、お正月の風物詩としておなじみ。本州とは違い、北海道では地域限定のかるた文化が浸透し、3人1組のチームが、読み手に合わせて「木札」を取り合う。下の句かるたとして広く親しまれてきました。

今から30年以上前のクラブ設立当時、市内には子ども会を中心に約20チームが組織され、共働き家庭などの小学校低学年の児童に保

護者帰宅までの場所を市が提供する「放課後児童クラブ」でも盛んに指導が行われていました。

しかし、テレビゲームの普及など、時代の流れとともに愛好者が徐々に減少し、現在クラブの会員数は10名定らず。

それでも、代表の板谷さん、「かるたは、勝負ごと」で本当に格闘技みたいですが、とにかく和気あいあい楽しんでいきます。会員募集の貼り紙を見て、興味を持ってくれた小学生も参加しています。新年1月15日の大会に向けて頑張って練習しています」

この記事を読んで、「懐かし」「やってみたい」と思った皆さん、圧倒的なスピード感を体験してみませんか。

新春みんなで百人一首

3人1チーム（補欠登録可）で、市民の方ならどなたでも参加できます。

友達同士やご家族で参加してみませんか？

日時 1月15日(日)午前10時～午後4時

場所 武道館 参加費 無料

☎ 生涯学習推進課青少年・体育係
(第2庁舎 ☎ 23-3331内線 511)



人のうごき

～平成23年11月末日現在～

※（ ）は前月比

| | | | |
|----|---|----------|----------|
| 人口 | 男 | 17,181人 | (- 11人) |
| | 女 | 19,433人 | (- 9人) |
| | 計 | 36,614人 | (- 20人) |
| 世帯 | | 17,827世帯 | (- 13世帯) |

楽 画 記

■あけましておめでとうございます。昨年はどうな1年でしたか？僕はやっと元来の立派な風貌にふさわしい年齢「40」に到達！古代中国の賢人、孔子の言葉「40にして迷わず」…まさに知力が最高潮に達し最も優れた判断ができるらしい！最近、特に「物忘れ」がひどくなりました。(じ)

■難しく考えていても何ひとつ進まず、少し楽に考えたらあっという間に物事が進む。この結論を基に今年も色々なことに取り組みしていきたいと思ひます。結論に到達した主な要因は楽画記。気のきいた事を書こうと考えたものより、素直に書いた文の方が良かった。それだけの事ですが…(よ)

■新しい体育館の愛称が決まりました。今までは「新体育館」と味もそっけもない呼び方でしたが、これからは『伊達』のイメージと調和した愛称で呼べるのでより身近に感じることが出来そうです。伊達市の新しい顔としてのお披露目ももうすぐですね。(や)